

令和7年度(2025 年度)

病害虫発生予察情報 第 18 号

注意報第9号

北海道病害虫防除所 令和7年(2025 年)8月 22 日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshoh/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

シロイチモジヨトウのフェロモントラップに多誘殺を確認 各種作物の観察に努め、発生確認後の速やかな対応を！

長沼町・北斗市の予察ほ場に設置したシロイチモジヨトウのフェロモントラップに昨年より多い誘殺が確認されており(図1)、道央のねぎほ場、十勝地方のてんさいほ場では幼虫による加害が確認されています。

シロイチモジヨトウの幼虫は様々な作物を食害する広食性の害虫で、他府県ではねぎ、キャベツ、うり科野菜で被害が多く、国外ではてんさいでも重要害虫とされています。また本種は休眠性を持たず低温耐性が低いため道内での露地越冬は困難とされていることから、発生は南方からの飛来によるものと考えられます。

シロイチモジヨトウの成虫は、体長約 15 mmで全体的に灰褐色をしており、前翅には白色～黄褐色の斑紋を持ちますが(写真1)、斑紋は不鮮明なことが多いです。卵は数十個が一塊となって葉に産み付けられ、灰褐色をした成虫の鱗毛によって薄く覆われます。幼虫の体色は個体間差が顕著で淡緑色から黒紺色まで様々ですが、中齢以降の幼虫の腹部側面に明瞭な白い線があることが特徴です(写真2)。老齢幼虫の体長は 30 mm程度であり、同じヤガ科のヨトウガ老齢幼虫よりも小さく見えます。

札幌管区気象台発表の8月19日付け3か月予報によると9月の気温は平年より高いと予報されており、シロイチモジヨトウの活動も活発になるものと予想されます。

以上のことから今後、シロイチモジヨトウが道内の広い範囲で発生する可能性があるため、ねぎ、キャベツなど、加害のおそれがある作物では観察に努め、発生を確認したら速やかな防除に努めましょう。

1. 発生地域 全道

2. 予想される発生量 多

3. 加害のおそれがある作物 ねぎ類、あぶらな科野菜、うり科野菜、まめ科作物、なす科作物、てんさい等

4. 注意報発令の根拠

- (1) 長沼町・北斗市の予察ほ場に設置したフェロモントラップで、シロイチモジヨトウの成虫が昨年度よりも多く誘殺されている。
- (2) 道央のねぎほ場、十勝地方のてんさいほ場では、8月上旬に幼虫による加害事例が確認された。
- (3) 札幌管区気象台発表の8月19日付け3か月予報によると、9月の気温は平年より高いと予報されており、シロイチモジヨトウの活動も活発になるものと予想される。

5. 防除対策

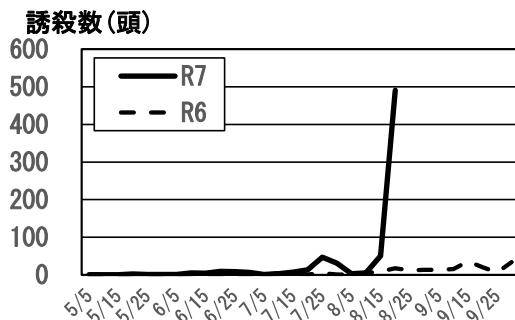
- (1) 加害のおそれがある作物ではほ場の観察に努め、発生を確認したら薬剤が効きやすい若齢幼虫のうちに、速やかな防除を実施する。
- (2) 本種は過去に、カーバメート(RACコード:1A)、有機リン(同:1B)、ピレスロイド(同:3A)、ベンゾイル尿素(同:15)、最近では一部のジアミド剤(同:28)など、各種薬剤の感受性低下が報告されていることから、防除数日後に散布効果を確認して加害が止まらない場合は他系統薬剤を散布する。



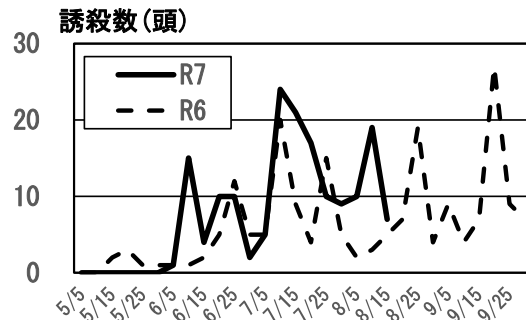
写真1 成虫(体長: 約 15mm)



写真2 老齢幼虫(体長: 約 30mm)



長沼町 (ファネル式トラップ)



北斗市 (粘着板トラップ)

図 1 長沼町・北斗市に設置したシロイチモジヨトウ・フェロモントラップの誘殺数の推移

表 1 ねぎのシロイチモジヨトウに対する農業登録一覧 (2025. 8. 17 現在)

殺虫剤系統 (RACコード)	農薬の種類	有効成分濃度	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	総使用回数
カーバメート (1A)	メソミル水和剤	45.0%	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内	4回以内
有機リン (1B)	プロチオホス乳剤	45.0%	1,000倍	収穫7日前まで	3回以内	4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布、無人航空機散布及び株元灌注は合計3回以内)
ピレスロイド (3A)	エトフェンプロックス乳剤	20.0%	1,000倍	収穫21日前まで	2回以内	2回以内
	シベルメトリン乳剤	6.0%	1,000倍	収穫7日前まで	5回以内	5回以内
	ベルメトリン乳剤	20.0%	2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	3回以内
	ピフェントリン水和剤	2.0%	1,000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内
スピノシン (5)	スピネトラム水和剤	11.7%	2,500～5,000倍	収穫前日まで	2回以内	2回以内
	スピノサド水和剤	25.0%	5,000倍	収穫3日前まで	3回以内	3回以内
アヘ [®] ルメクチン・ミルベ [®] マイシン (6)	レビメクチン乳剤	1.0%	1,000～2,000倍	収穫3日前まで	3回以内	3回以内
	エマメクチン安息香酸塩乳剤	1.0%	1,000～2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	3回以内
ピロール (13)	クロルフェナビル水和剤	10.0%	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内
ベンゾイル尿素 (15)	フルフェノクスロン乳剤	10.0%	4,000倍	収穫14日前まで	3回以内	3回以内
	クロルフルアズロン乳剤	5.0%	2,000倍	収穫21日前まで	3回以内	3回以内
	テフルベンズロン乳剤	5.0%	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内
	ルフェスロン乳剤	5.0%	2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	3回以内
ジ [®] アシル・ヒド [®] ラジン (18)	クロマフェノジド水和剤	5.0%	1,000～2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	3回以内
	テブフェノジド水和剤	20.0%	2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	3回以内
	メトキシフェノジド水和剤	20.0%	4,000倍	収穫前日まで	2回以内	2回以内
	トルフェンピラド乳剤	15.0%	1,000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内
METI剤 (21A)	トルフェンピラド乳剤	15.0%	1,000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内
オキサジアジン (22A)	インドキサカルブ水和剤	5.0%	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内	2回以内
メタフルミゾン (22B)	メタフルミゾン水和剤	25.0%	1,000倍	収穫前日まで	2回以内	2回以内
ジアミド (28)	テトラニプロール水和剤	18.2%	2,500～5,000倍	収穫3日前まで	3回以内	4回以内(灌注は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内)
	シアントラニプロール水和剤	10.3%	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は3回以内(但し、株元灌注は1回以内))
	フルベンジアミド水和剤	20.0%	2,000～4,000倍	収穫7日前まで	3回以内	3回以内
	クロラントラニプロール水和剤	5.0%	2,000倍	収穫3日前まで	3回以内	4回以内(灌注は1回以内、定植後の処理は3回以内)
メタジアミド (30)	フルキサメタミド乳剤	10.0%	2,000～3,000倍	収穫7日前まで	2回以内	4回以内(苗浸漬は1回以内、株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
	プロフラニリド水和剤	5.0%	2,000～4,000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内
ピリダリル (UN)	ピリダリル水和剤	10.0%	1,000倍	収穫3日前まで	4回以内	4回以内

※表 1, 2 とも、使用方法が「散布」の単剤のみを抜粋した。

表 2 キャベツのシロイチモジヨトウに対する農業登録一覧 (2025. 8. 17 現在)

殺虫剤系統 (RACコード)	農薬の種類	有効成分濃度	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	総使用回数
有機リン (1B)	プロチオホス乳剤	45.0%	1,000倍	収穫21日前まで	2回以内	2回以内
メソイオン (4E)	ジクロロメゾチアズ水和剤	18.4%	4,000倍	収穫前日まで	2回以内	2回以内
スピノシン (5)	スピノサド水和剤	25.0%	2,500～5,000倍	収穫3日前まで	3回以内	4回以内(定植前は1回以内、本圃では3回以内)
アヘ [®] ルメクチン・ミルベ [®] マイシン (6)	レビメクチン乳剤	1.0%	2,000倍	収穫3日前まで	3回以内	3回以内
BT剤 (11)	B T 水和剤	10.0%	1,000倍	発生初期 但し、収穫前日まで	—	—
ピロール (13)	クロルフェナビル水和剤	10.0%	2,000倍	収穫前日まで	2回以内	2回以内
ベンゾイル尿素 (15)	フルフェノクスロン乳剤	10.0%	2,000～4,000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内
ジ [®] アシル・ヒド [®] ラジン (18)	テブフェノジド水和剤	20.0%	2,000倍	収穫前日まで	2回以内	2回以内
オキサジアジン (22A)	インドキサカルブ水和剤	5.0%	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内
ジアミド (28)	テトラニプロール水和剤	18.2%	2,500～5,000倍	収穫前日まで	3回以内	4回以内(灌注は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内)
	シアントラニプロール水和剤	10.3%	2,000～4,000倍	収穫前日まで	3回以内	4回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は3回以内)
メタジアミド (30)	フルキサメタミド乳剤	10.0%	2,000～3,000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内
	プロフラニリド水和剤	5.0%	2,000～4,000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内
ピリダリル (UN)	ピリダリル水和剤	10.0%	1,000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内